

教科・科目		対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
保健体育・体育		3 年	2	現代高等保健体育（大修館）	なし
科目の概要と目標		心身の健全な育成を図り、運動に親しむ態度を育むとともに、ルールを遵守する姿勢や礼儀を学び、習得する。生涯を通じて主体的に運動に取り組む姿勢を養う。			
授業の進め方		自ら工夫して活動できるようにする。また、ゲーム・試合・記録会を通して、チーム及び各自の課題発見・解決に向けて練習方法を考え実践するように指導する。			
評価の観点と方法		授業や課題への取り組みを「思考・判断・表現」「知識・技能」「主体的に取り組む態度」の3観点から評価する。			
	学期	単元・学習項目		学習内容・到達度目標	
年 間 の 授 業 内 容	1 学 期	【体づくり運動】 【選択Ⅰ】 陸上競技（競走・跳躍・投擲） 上記種目より1つ選択する。 【選択Ⅱ】 サッカー バレーボール ソフトボール 上記より1種目選択 【体育理論】 1 生涯スポーツの見方・考え方 2 ライフスタイルに応じたスポーツ		- 各種の体ほぐし運動、体力を高める運動を行い、体力の向上を目指す。 - 持久走、走り幅跳び、ハンドボール投げ、短距離走から種目を選択し、各自の設定した目標の達成とともに、心肺機能を高め、体力向上を目指し、健康増進について関心を持つ。 - 球技では個人的技能や集団的スキルを高め、作戦や状況に応じた動きを理解し、仲間と連携した動きを高め積極的にゲームに参加する。協力しながら学習内容を考え、大会の企画・運営なども行う。	
	2 学 期	【体づくり運動】 【選択Ⅲ】 バレーボール バスケットボール サッカー 上記より1種目選択 【選択Ⅳ】 バドミントン 卓球 バスケットボール 上記より1種目選択 【体育理論】 3 スポーツを推進する取り組み 4 豊かなスポーツライフの創造		- 各種の体ほぐし運動、体力を高める運動を行い、体力の向上を目指す。 - 球技では個人的技能や集団的スキルを高め、作戦や状況に応じた動きを理解し、仲間と連携した動きを高め積極的にゲームに参加する。協力しながら学習内容を考え、大会の企画・運営なども行う。	
	3 学 期			1 社会の変化にともなってスポーツの役割がどのように変化したのかを説明できる。 ライフステージに応じたスポーツの楽しみ方を説明できる。 2 「する」スポーツライフスタイルについて説明できる。 現在の自分のスポーツライフの諸条件を整理し、今後の豊かな設計のための諸条件や工夫のしかたの例をあげられる。 3 国内でスポーツを推進してきた取り組みを説明できる。 自分が住んでいた身近な地域におけるスポーツ推進の取り組みについて例をあげられる。 4 これまでとこれからのスポーツライフの違いを説明できる。 豊かなスポーツライフを創造していくための課題について例をあげて説明できる。	